

めあてとそれに合った自学の例

| | |
|---|--|
| <p><漢字を覚えたい></p> <ul style="list-style-type: none"> • ひらがなのページを見て漢字を書く • 音読する | <p><計算が速くできるようになりたい></p> <ul style="list-style-type: none"> • 計算ドリルの問題をタイムを計ってする (別の日のタイムと比べるとやる気につながる) • 教科書の問題をする |
| <p><読み取る力をつけたい></p> <ul style="list-style-type: none"> • 段落の関係を図にする • 人物の関係を図にする • 叙述(教科書の言葉)から登場人物のどんな気持ちかわかるのか書き込む • 筆者が伝えたいことは何で、それに対して自分はどう考えるのかを書く | <p><外国語を話せるようになりたい></p> <ul style="list-style-type: none"> • 授業で学んだ言い方を使ってお家の人にインタビューする • 学んだ言い方をお家の人に聞いてもらう |
| <p><文章力をつけたい></p> <ul style="list-style-type: none"> • 作文、感想文、意見文、説明文などを書く • 本や新聞を読んで要約する | <p><授業で学んだことがわかっているのか、できるようになったのか確認したい></p> <ul style="list-style-type: none"> • 教科書や計算ドリルの問題をする(算) • 実験方法や注意点、器具の使い方などを書く(理) • 課題の対するまとめを自分の言葉で書く(理・社) |
| <p><語彙力(言葉の力)をつけたい></p> <ul style="list-style-type: none"> • 意味調べ (国語以外の教科で使う言葉も効果あり) • 音読 • 読書 • 新聞を読む • 言葉の学習(熟語集め、敬語、似た漢字集め) | <p><授業で学んだことを整理したい></p> <ul style="list-style-type: none"> • 授業で書いたノートをわかりやすく書き直す(国・算・理・社) • 物事の関係性を図・表・絵を使ってまとめる(理・社) • 自分で年表を作って歴史の流れをまとめる(社) • 歴史上の人物が、いつの時代に、何をしたか、他の人物との関係をまとめる(社) • 自学ノートに歴史新聞を作ってみる(社) |
| <p><説明する力をつけたい></p> <ul style="list-style-type: none"> • どのように計算したのかを簡条書きや文章を使って説明する • 考えの理由を書く (なぜその式にしたのかなど) • 本や新聞の資料からどんなことがわかるのか、それを受けて自分はどう考えるのかを書く | <p><授業でしたことをもっと深く学びたい></p> <ul style="list-style-type: none"> • 授業で学んでいる物語文と同じ作者の本を読む(国) • 同じ作者の本を読んで共通点を見つける(国) • 実験で行ったことが日常生活の中でのないか探し、体験する(理) |



どの学習でも、わかったこと、感じたことを書くと次の学習に生かすことができます。
そして、自学はやっただけ**力がつきます**。机の前に座るくせをつけ、毎日続けてみて下さい。